

市町村名	伯耆町
取組の名称	学校、地域、家庭と連携した取組

1 ねらい  
学校、地域、家庭と連携し地域全体で様々な人と関わりながら食育活動をすることで児童生徒の食に関する自己管理能力を育成したいと考え本取組を実践した。

2 日時、場所、対象  
令和7年度に伯耆町内の小・中学生を対象に実施した。

3 具体的な取組内容

(1) おはなし給食【学校との連携】

10月27日～11月9日までの秋の読書週間にあわせ、「おはなし給食」と題し、学校司書の先生と連携し、本にでてくるメニューに少しアレンジを加えた献立を給食に取り入れた。期間中は、献立表や学校給食だよりで啓発するとともに、学校司書の先生のご協力で各学校において、本の紹介コーナーも作っていただき児童生徒の「食」と「本」への関心を高めることができた。



【受配校のおはなし給食コーナー】



ごはん 牛乳  
ビビンバ  
ツナサラダ  
ABCスープ

【給食だより】

【おはなし給食の一例】

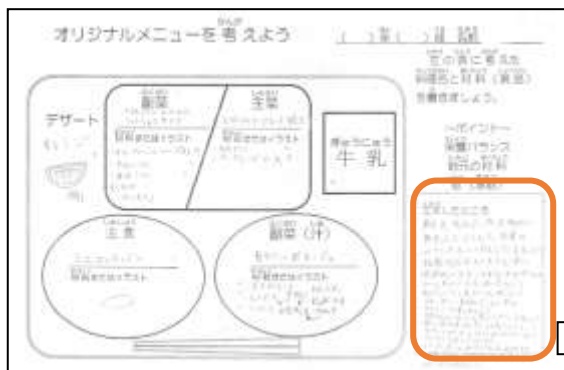
児童生徒や教職員の感想（児童の様子や給食ノートの感想より）

- ・（学校のおはなし給食コーナーを見て、「明日はABCスープだ。楽しみだな」（児童）
- ・「本物のABCスープを初めて食べました。おいしかったです。」（生徒）
- ・「中学校でも本を飾ってくださっています。面白い取組ですね。」（教職員）
- ・「お話も気になっているみたいで、毎日児童が今日のお話と給食は何かなと言っています。」（教職員）

(2) 健康委員会によるオリジナルメニューを考える取組【学校との連携】

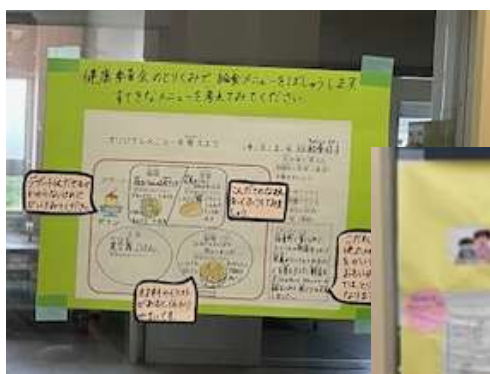
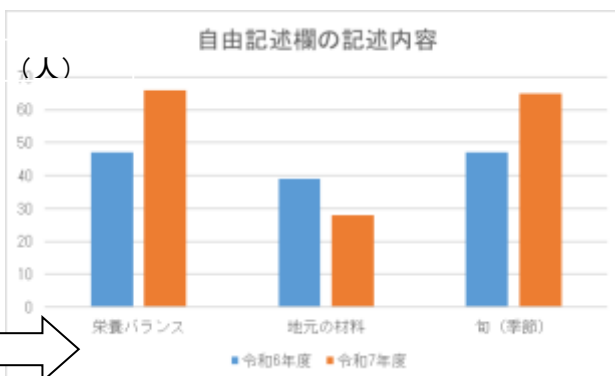
毎年、児童会の健康委員会主催で、児童からオリジナルメニューを募集し、給食献立に取り入れる取組を行っている。給食献立に取り入れる際には、栄養バランスだけでなく、応募用紙の「工夫してあるところ」の記述欄に、「栄養バランスがよいか」、「地元の材料を使っているか」、「旬（季節）の食材を使っているか」が記述されているかをもとに選考を行っている。そこで、今年度は、地元食材や旬を意識して創意工夫した献立を提出してもらうことをねらいとし、献立募集に関わる掲示物を作成し、児童に啓発をはかった。

さらに、児童が提出した応募用紙の「栄養バランス」、「地元の材料」、「旬（季節）」というキーワードの記述回数を数え、令和6年度の同様の応募用紙と比較した。（「鳥取県の食べ物を入れた」と記述してあるものは、「地元の材料」に分類するなど、似たような内容もまとめて集計した。（応募数 令和6年度301人、令和7年度291人）

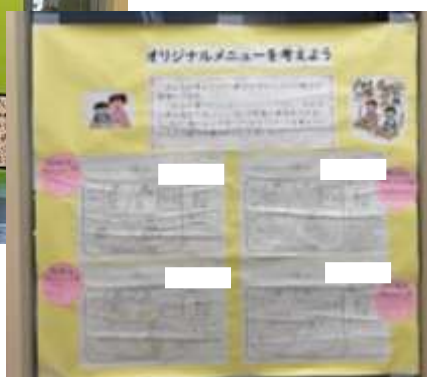


【応募用紙】

ここに記述されている  
キーワードの記述内容を数えた



【献立募集に関わる掲示物】



【採用された児童の応募用紙】



ごはん 牛乳  
さわらの青のりパン粉焼き  
千草あえ じゃぶ汁

【実際の給食写真】

令和7年度は、令和6年度に比べ「栄養バランス」と「旬(季節)」について記述している児童が増加した。また、4年生以下は、「自分が好きなものを入れた」などの記述も多かったが、家庭科の学習や、食に関する指導で栄養バランスや旬の食材について折に触れて学習してきた5、6年生は、「栄養バランス」、「地元の食材」「旬(季節)」について記述している児童が多くみられた。

また、献立が採用された児童が放送原稿を作成したり、採用された児童の応募用紙を掲示したりすることで、児童の給食への興味関心を高めることができた。

### (3) 学校給食における保小中連携【地域、学校との連携】

学校給食の献立作成や食に関する指導に活かすため、町内保育園の献立検討会に参加し、献立内容及び園児や児童の実態を共有している。令和7年4月には新規の取組として町内保育園、小学校、中学校共通献立を実施した。



ごはん  
牛乳  
キッズヤンニョムチキン  
さっぱりポテトサラダ  
わかめスープ

【保育園、小中学校統一献立】

### 給食の感想～給食ノートより～

- ・いつもと違うヤンニョムでおいしかったです。(生徒)
- ・辛みのないヤンニョムチキンも、これはこれでおいしかったです。(生徒)
- ・保育園と同じ献立と知って、「えー！」と嬉しそうな反応をしていました。(教職員)
- ・子ども達の共通献立ということを知っていたようで、なつかしむ様子がありました。(教職員)

#### (4) バランスのよい朝ごはんをとるための取組【学校、家庭、地域との連携】

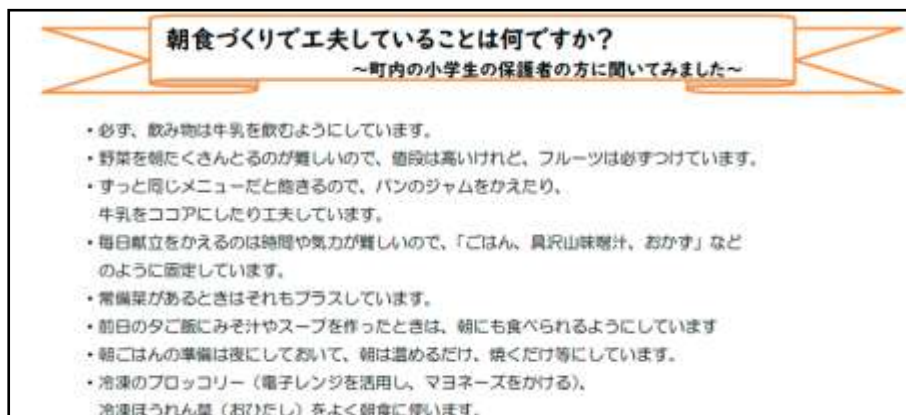
##### ① 健康委員会による朝食摂取をうながす取組

伯耆町では、町教育振興会の取組として、小・中学生を対象に毎月19日に朝食調べを行っている。朝食摂取における課題解決のため、朝食調べの前日に、健康委員会の児童が以下のような放送をして朝食摂取を促した。

例) 1日を元気に過ごせるように、朝ごはんをしっかりと食べてきましょう。体の調子をととのえるはたらきがある、「野菜」や「くだもの」などのみどり色のグループの食べ物や、おかずも食べてきましょう。

##### ② バランスのよい朝食をとる工夫の紹介

給食試食会で栄養教諭が講話した際に、バランスのよい朝食を摂取するための方法について保護者と意見交換をおこなった。その際に手軽にバランスのよい朝食をとれる工夫がたくさん情報提供されたことから、その内容を給食だよりに掲載し、給食試食会に参加していない保護者も参考にできるようにした。さらに、町教育振興会の取組として、この給食だよりの内容を町内保育園にも紹介し、町内全体での朝食の摂取状況の改善を促した。



#### 【「給食だより」より一部抜粋】

#### 4 成果と課題

##### (1) 学校との連携

日々の給食時間における食に関する指導などに加えて、これらの取組を今年度、新規で実施したことにより、児童生徒の給食時間の様子などから児童生徒の食への興味関心が高まったことが伺えた。今後も校内の多職種の職員と連携し、受配校の実態に応じた取組をしていきたい。

##### (2) 地域との連携

伯耆町では、日ごろから食材供給の生産者との連携を密にし、地場産物の活用を積極的に行っているが、近年それに加えて町の管理栄養士や各保育園との連携も進めている。これらの取組は、町内での食育推進体制の構築につながるだけでなく、適切な給食量の提供やアレルギー対応などにもつながっているため今後も継続して取組をすすめていきたい。

##### (3) 家庭との連携

朝食摂取率向上については、保護者と給食試食会で意見交換し、各家庭での工夫やアイデアを他の家庭へ情報提供することで家庭へ寄り添った取組ができた。しかしながら、現在のところ、家庭と連携できる場合は給食試食会や学校保健委員会などに限られ、家庭にアプローチすることの難しさを感じている。今後も保護者に試食会などの機会をとらえて朝食摂取の大切さを伝えていくことと併せて、児童生徒には、給食時間における食に関する指導の機会などに朝食の大切さを知らせるなどの手立てを行い、課題解決につなげていきたい。